

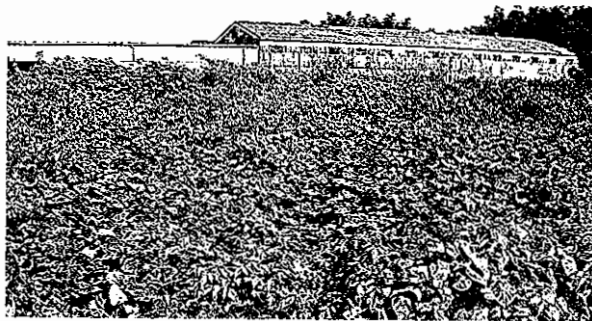
## 鈴鹿で活用中の耕作放棄地 草ぼうぼう

# あす草刈りボランティア来て

鈴鹿市石薬師町の「ニューファームプロジェクト事業」を進める「鈴鹿ブレインヴィレッジ」(SBV)のメンバーと農園経営者らが22日、サツマイモ畑で雑草の刈り取りを計画し、ボランティアを募っている。29日には収穫祭がある。

「あぜんとしました。こんなにひどいことになるとは……」。市内の製造業者らでつくるSBV会長の国吉修司さん(60)は、雑草が生い茂るイモ畑をみて面食らったという。

サツマイモは、借りた耕作放棄地80



畝のうち開墾した20畝で栽培。メンバーや一般参加者ら計約100人が6月、約5千本の苗を植えた。雑草対策として畝を黒いシートで覆ったが、効果は薄く、雑草はどんどん繁殖。人の背丈よ

り高いものもあり、サツマイモは雑草の間でかろうじて生えている感じた。

このままだと収穫もままならないため、22日午前8時から草刈りを計画。国吉さんは「多くの方のお力添えが必要」といい、当日、くわか鎌を持参しての参加を呼びかける。

同事業は耕作放棄地にサツマイモを植え、燃料や食料などの多面的利用をめざしている。収穫祭ではイモを収穫した後、食料、焼酎、燃料用にそれぞれ分類。その場で水洗いし、切ってポテトフライにしたりして試食する。加工済みのジャガイモをストーブで燃焼させ、電気を起こす実験もする。問い合わせ、参加申し込みは鈴鹿商工会議所(059・382・3222)のSBV係へ。(佐野登)